

居酒屋で笑顔の接客

障害児者6人就労体験

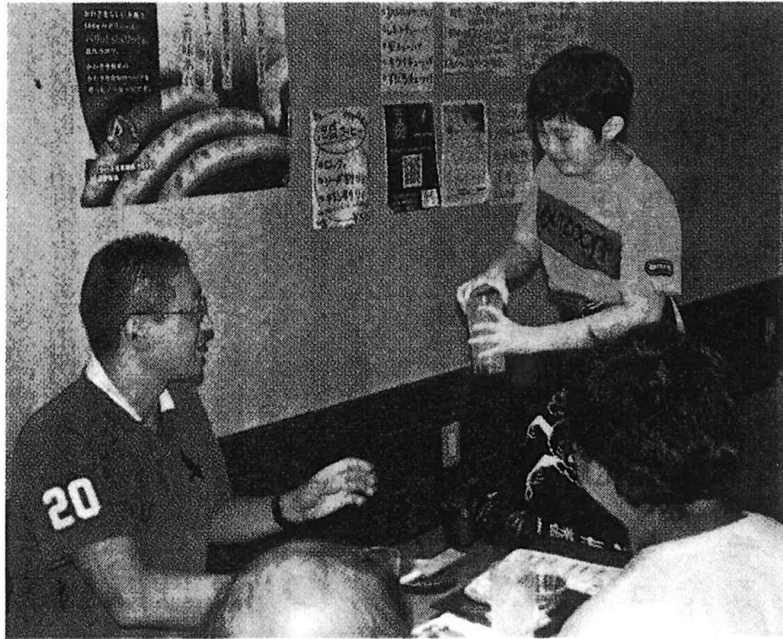
中原

知的障害のある子どもにも接客業務を体験してもらう試みが7日、川崎市中原区の居酒屋「鈴や武蔵中原店」であった。参加者は従業員に指導を受けながら仕事をこなし、働くことの大変さや達成感を肌で感じた。

障害者の就労支援に取り組んでいるダンウェイ(同市中原区)の企画で、小学生から成人までの障害児者6人が参加。開店前の時間を利用し、家族らを相手に接客をした。

「靴はこちらに入れてください」と出迎えからスタート。来客役の家族らを席に案内してドリンクの注文を取ったり、自分たちで盛り付けた野菜の盛り合わせを配膳したりして、テキパ

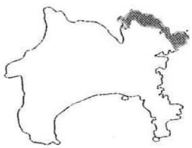
「おります」とあいさつ。笑顔で締めくくった。ダンウェイの高橋陽子社長は「地域の人々に支えられて何回か実施しているが、参加者は年々できることが増えている」と手応えを得ている様子。試みの趣旨に賛同し協力した、同店



居酒屋で就労体験をする子ども＝川崎市中原区

を運営するすずやの蟹江脩と話した。礼社長も「このような取り組みが広がることで町が暮らしやすくなっている」と話した。仕事体験は14日にも行われる予定。
(鈴木 崇宏)

川崎



地域ニュースはカナロコで

www.kanaloco.jp